

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年1月22日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	志布志市 (462217)
地域名 (地域内農業集落名)	野神区 (東原東・東原中・東原西・下方限・中方限・頭方限・岩屋・稲荷下・野神鍋・沢津ヶ峯・岩瀬戸・立本・草野・宮下・下原・山重鍋)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	689.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	682.4 ha
② 田の面積	0.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	683.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	21.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

①畜産農家と関係する農家については、甘藷と飼料作物を交互に耕作することがある。(上床及び野神原)
②現状の畑では1筆の面積が小さく、分散している等の立地条件から耕作を希望する担い手は少ないと思われるので、土地改良の必要がある。
③用水路が老朽化しており、茶の農場近くは水路が埋まっていることが多く、圃場の管理問題がある。
④茶畑が多く、茶畑の中に甘藷畑が点在することから、薬剤散布がしづらい。
主な作物:キャベツ、甘藷、茶

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

作物の生産や栽培方法:田については畑地化や5年に1度水張ルールを進めていく。
畜産農家と関係する農家については、甘藷と飼料作物を交互に耕作出来るように計画的に行いたい。
今後の将来の在り方:今後も引き続き、地域内の認定農業者等への集約化を進めつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。また、農家間の交流を増やし、農地交換を行い効率的な耕作が出来るようにしたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本とする。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	43	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地中間管理機構の活用により、団地化(集約化)の取組が進められている。今後も引き続き、担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・地域の認定農業者等の担い手が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。認定農業者や新規就農者に集約し、団地化を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・地域全体の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を農地中間管理に貸付けていく。
(3)基盤整備事業への取組
・基盤整備の予定なし。 ・地区としてまとまって基盤整備や土地改良を行うため、入作の耕作者との連携を強化していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地区内外から多様な経営体を受け入れて、計画的に就農希望者を確保できる体制を構築していく。 ・意向を踏まえながら担い手として育成していくため、行政やJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく実施する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・地域内での農作業の効率化を図るため農業公社等へ飼料のロール作業を委託している。今後も取り組んでいく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣の隠れ場となる耕作放棄地等を農地所有者、耕作者、地域住民と協力体制を確立し管理を行う。また、補助事業を活用し広域的な電気柵の設置などの対策を行う。
②自然環境や消費者の健康に良い影響を与える減農薬栽培への取り組みを進めていく。
③スマート農業を取り入れ、ドローンによる防除作業や肥料散布等を実施することで作業の効率化を図る。
⑦用排水路や畦畔などの定期的な点検を取り組み、地域環境の美化を図り、災害時のリスクを減らす。
⑧ビニールハウス等の施設設置について補助事業を活用し、生産組合等の負担の軽減を図る。
⑨地区で生産された飼料作物は、地域内の畜産農家に供給しつつ、家畜排せつ由来堆肥は地域内の生産者に供給する仕組みを構築する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	38経営体		172.7 ha	0 ha		152.5 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農			0.0	ha		7.2	ha	31	
2	認農			0.2	ha		4.4	ha	5	
3	認農			4.3	ha		0.5	ha	16	
4	認農			2.7	ha		3.0	ha	3	
5	認農			4.6	ha		4.4	ha	17	
6	認農			1.3	ha		2.2	ha	28	
7	認農			0.0	ha			ha	36	4.1
8	認農			2.0	ha		1.0	ha	23	
9	認農			0.5	ha		0.4	ha	35	
10	認農			0.6	ha		6.7	ha	9	
11	認農			4.8	ha		6.6	ha	33	
12	認農			33.9	ha		8.5	ha	18	
13	認農			0.0	ha		2.5	ha	15	
14	認農			1.3	ha		11.0	ha	25	
15	認農			0.0	ha			ha	37	1
16	認農			1.5	ha			ha	38	0.4
17	認農			2.6	ha		5.2	ha	7	
18	認農			4.0	ha		6.2	ha	26	
19	認農			4.5	ha		0.6	ha	39	
20	認農			8.5	ha		19.8	ha	8	
21	認農			37.1	ha		2.2	ha	27	
22	認農			1.4	ha		1.1	ha	19	
23	認農			7.9	ha		1.4	ha	11	
24	認農			1.9	ha		2.1	ha	30	
25	認農			10.2	ha		7.8	ha	32	
26	認農			1.4	ha		1.4	ha	13	
27	認農			1.8	ha		0.9	ha	12	
28	利用者			1.0	ha		1.0	ha	24	
29	利用者			1.0	ha		0.6	ha	22	
30	認農			4.8	ha		4.8	ha	2	
31	利用者			1.9	ha		11.7	ha	29	
32	認農			10.7	ha		12.4	ha	10	
33	利用者			5.5	ha		7.1	ha	34	
34	認農			2.8	ha		2.5	ha	4	
35	認農			0.0	ha		3.8	ha	6	
36	認農			1.0	ha		0.9	ha	21	
37	認農			0.0	ha			ha	20	1.7
38	認農			5.0	ha		0.6	ha	14	